



平成30年8月6日

南相馬市議会議長

会派名 無会派
代表者氏名 岡崎 義典



調査研究報告書

1 期間 平成30年8月1日（水）

2 参加者 ① 岡崎 義典 ②
③ ④
⑤ ⑥
⑦ ⑧
⑨ ⑩

3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	平成30年8月1日(水) 13:00~16:30
旅行先	埼玉県蓮田市 ひかりサロン蓮田
調査研究事項	ショッピングリハビリについての調査研究
〔内容〕	
<p>光プロジェクト株式会社が認知症予防として行っている「ショッピングリハビリ」を導入している埼玉県蓮田市の介護事業所「ひかりサロン蓮田」の代表である直井誠氏と、光プロジェクトの取締役である作業療法士の武藤竜也氏から、導入に至る経緯と現在の状況について意見交換を行った。</p>	
<p>ショッピングリハビリとは、介護事業所と商業施設、行政が連携し、介護の予備軍から要介護2から3程度の方を対象に、商業施設まで送迎をし、買い物をすることで足を動かし、選んだり会計したりすることで頭を働かせ、店員や近所の友人と会うことでコミュニケーションを図るリハビリで、歩行が困難な方には光プロジェクト株式会社が開発した「楽々カート」を使うことで店内を自由に歩き回ることができる取り組み。</p>	
<p>「ひかりサロン蓮田」はJR蓮田駅前の東武ストアの中にあり、地下1階は生鮮食品売り場、1階は電化製品売り場、2階は「ひかりサロン蓮田」の他にスポーツジムや100円ショップがあり、東武ストアの全面協力で利用者はすべての店舗を「楽々カート」で歩き回ることが可能となっている。</p>	
<p>今年度からショッピングリハビリを導入したばかりで、施設利用者は現在15,6人。週に一度前日の夕食の思い出し、体操などのプログラムの一環としてショッピングリハビリを行っている。</p>	
<p>ショッピングリハビリでの歩行目安は1回につき2,000歩とのことだが、当然利用者の状況によってリハビリの内容も異なり、買い物に来る足がない元気な高齢者は単独で買い物をしていただく。(介護予備軍)車いすを利用するほど歩行が困難な場合や軽度の認知症の方には介護福祉士がマンツーマンで買い物の補助をして、困難な動作を改善できるようリハビリに取り入れていく。(リハビリ)</p>	
<p>「ひかりサロン蓮田」の利用者である歩行困難な90歳男性は、ショッピングリハビリの前日には奥さまとチラシを見て買うものを決めてくるそうで、引きこもりがちであったが通い始めてから表情が大変明るくなったとのこと。</p>	
<p>他の自治体での導入事例をみても状況はさまざま、北海道函館市では地元企業のCSRとして地元の函館朝市に連れてきて楽々カートを利用していただいて取り組みが函館市に評価され、総合事業として取り組まれるようになったり、山形県天童市では市内の4つのスーパーと介護事業所、市で連絡協議会をつくり、市内全域の買い物弱者を救うための取</p>	

り組みとして今月中の導入に向け調整が進められている。

本市においても、買い物弱者を救うこともさることながら、原発事故によって進んだ高齢化社会を元気に過ごしていただくためにも予防に力を入れることは非常に重要であると感じた。一方で商業施設の協力、介護事業所の意欲、市の予防に対する考え方など限られた財源と人材でどのように行っていくかなど相当検討の必要があると感じた。

また、当初、「ひかりサロン蓮田」のあとに、蓮田市の担当者（地域包括支援センター）に予算や市の関わりについて意見交換をする予定であったが、事前に質問内容がわかっていた方が資料の提供等しやすいとの理由から、後日メールでのやり取りをするようになった。

（蓮田市へ送った質問）

- 1 介護事業所への補助は初期費用、運営費用でどれほどか
- 2 今後、市内全域に拡大させていく考えは
- 3 効果検証をどのように行っていく考えか